

<b>授業科目</b> 看護研究方法論	<b>科目概要・形式</b> 2単位 30時間	<b>配当年次</b> 1年 前期
<b>科目責任者</b>	角濱 春美	
<b>担当者</b>	大関 信子、角濱 春美、木村恵美子、清水健史	
<b>1. 科目のねらい・目標</b> 看護研究の基本的な方法、研究過程を習得する。また、既存の研究を批判的に分析し、研究を臨床実践に活用する能力を修得する。 <到達目標> 1. 看護研究の意義と動向を理解し、科学的思考法について理解できる。 2. 研究デザイン、研究方法について理解し、正しく論文を読むことを通し、研究実践ができる基礎的能力を習得する。 3. 研究成果を活用するにあたり必要なクリティーク能力を身に付け、EBPの実践と普及ができる基礎的知識を獲得する。		
<b>2. 授業計画・内容</b> 1) 授業計画 <b>第1—4回 看護研究の基礎と概念【角濱】</b> 看護研究の目的、臨床実践に資する看護研究とは何か、科学的思考とは何か 概念的文脈の理解 <b>第5—6回 看護研究のためのデザイン【木村】</b> 量的研究のデザイン、質的研究のデザイン、方法論的トライアングレーション <b>第7—8回 測定とデータ収集・分析—測定用具の信頼性・妥当性—【木村】</b> データの収集方法（質問紙法、測定法、観察法）、 研究結果を理解するための分析方法の理解（統計解析の読み方） <b>第9回 事例研究の方法論【木村】</b> 科学的な事例研究とは、振り返り型事例研究、仮説検証型事例研究、 事例研究への看護理論の活用 <b>第10—11回 質的研究の方法論【清水】</b> 質的研究の種類、基盤となる理論と分析方法の理解、 看護学・看護実践における質的研究の役割 <b>第12—13回 看護研究の批判的分析、研究報告・研究論文の読み方・書き方【大関】</b> 研究のクリティークのための視点、研究を臨床実践に取り入れるための視点 研究論文の読み方・書き方 <b>第14回 Evidence-based Practiceの基礎的理解【角濱】</b> EBPの定義と歴史、エビデンスヒエラルキー、臨床実践ガイドラインと普及、 EBP普及に関わるモデル、EBP普及のための組織要因・個人要因 <b>第15回目 研究の実践への活用モデル【角濱】</b> 研究活用プロセスと EBP、Systematic Review、臨床実践のガイドライン、 EBPのステップ（PICOT Format）、Evidenceとなる看護研究の推進 2) 授業内容 学生によるプレゼンテーションを主体とした授業を行う		
<b>3. 教科書、参考書</b> <教科書> D.F. ポーリット& C.T. ベック著、近藤潤子監訳（2010）：看護研究—原理と方法 第2版、医学書院、2010. ISBN 978-4-260-00526-5 <参考書> バーンズ&グローブ著、黒田裕子他監訳（2007）：バーンズ&グローブ 看護研究入門、エルゼビアジャパン 高木廣文、林邦彦（2006）：エビデンスのための看護研究の読み方・進め方、中山書店 これ以外は授業で随時紹介		
<b>4. 成績評価方法</b>		

レポート評価とする

**5. 受講要件**

なし

**6. 社会人学生に対する配慮**

夜間、土日開講とする。

**7. その他**